

第4学年 社会科学習指導案

場 所 4年1組教室

児 童 男子14名 女子16名 計30名

指導者 田代 恵美子

1 単元名 地域で受けつがれてきたもの

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第4学年の内容(4)「県内の伝統や文化」を受けて設定されている。この内容は、主として「歴史と人々の生活」に区分されるものである。本単元では、岩手県内の文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して学習を進める。さらに、岩手県内の文化財や年中行事の様子を人々の願いや努力と関連付けて考え、地域の伝統や文化を保存・継承していくために自分達にできる取組を考えることをねらいとしている。

(2) 児童について

児童は、第3学年の「市の様子の移り変わり」において、自分達の町やそこに住む人々の生活の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことなどを学習している。さらに自分も地域社会の一員であるという自覚や、これからの地域の発展を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識などを養ってきた。しかし、地域の伝統や文化について関心が低い児童がいる。本単元を通して、地域と自分との関わりについて考えさせていきたい。

(3) 指導について

本単元では、岩手県内各地の文化財や年中行事について調べて、地図や年表にまとめる活動を通して、県内にはさまざまな文化財や年中行事があること、それらは昔から地域の人々に受け継がれてきたことや地域の発展などの様々な願いが込められていることに気付かせていく。また、県内の文化財や年中行事について調べたり、それらに関わる人々の願いや努力について調べたりする活動を通して地域の人々の思いや願いに気付き、それらの保存・継承には、たくさんの人々が関わっていることを考えさせたい。さらに、岩手県内各地の文化財や年中行事を比較しながら調べていく活動を通して、地域の方々の思いや願いが込められていることに気付き、自分自身も地域社会の一員であるという自覚や、伝統や文化の保護・継承を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識などを養うようにする。

(4) 単元の目標

県内の文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組に着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

(5) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。 ・ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。 ・ 地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分達が協力できることを考えたり選択・判断したりしたことを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・ 学習したことをもとに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分達にできることなどを考えたり選択・判断したりしようとしている。

(6) 単元の指導計画・評価計画 (全10時間)

※は評価した結果を記録に残す場面

時	ねらい	・主な学習活動 ☆主な ICT 活用	資料	評価規準
1	・岩手県の主な文化財や年中行事について関心をもち位置や名称を調べることができる。	・岩手県の主な文化財と年中行事について、位置や名称を地図にまとめ、気が付いたことを話し合う。 ☆電子黒板で、岩手県の主な文化財を提示する。(A1)	・地図「岩手県」 ・表「岩手県の主な文化財と年中行事」 ・写真「盛岡さんさ踊り」	【思】 盛岡さんさ踊りなどの県内の文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して問いを見いだしている。
2	・盛岡さんさ踊りが、地域の人々に受け継がれてきたことについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつことができる。	・盛岡さんさ踊りの写真資料などから、調べたことや疑問に思ったことを整理して学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ☆タブレットで、資料を調べる。(B2)	・動画「盛岡さんさ踊り」 ・写真「盛岡さんさ踊り」 ・学習計画表	【態】 盛岡さんさ踊りについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。
盛岡さんさおどりのような年中行事は、どのように受け継がれてきたのだろう。				
3	・盛岡さんさ踊りの由来や踊りに込められた願いについて理解することができる。	・盛岡さんさ踊りの由来や踊りに込められた願いについて調べる。 ☆タブレットで、学芸員さんの映像を視聴する。(B2)	・動画「学芸員さんのお話」 ・文章資料「学芸員さん、実行委員会の方のお話」 ・写真「盛岡さんさ踊り」	【知】※ 資料をもとに、盛岡さんさ踊りの由来や踊りに込められた願いについて理解している。
4	・盛岡さんさ踊りが受け継がれてきた背景には、様々な人々の支えがあることを捉えることができる。	・盛岡さんさ踊りの歴史について、年表などの資料をもとに調べる。 ☆タブレットで、盛岡さんさ踊りの資料を調べる。(B2)	・年表「盛岡さんさ踊りの歴史」 ・グラフ「盛岡市の観光客数」 ・写真「盛岡さんさ踊り」	【知】 盛岡さんさ踊りが受け継がれてきた背景には、様々な人々の支えがあることを理解している。
5 (本時)	・盛岡さんさ踊りを保存・継承している人達の思いや願いを捉えることができる。	・盛岡さんさ踊り保存会などの方の話から、踊りに込めた思いや願いをまとめる。 ☆タブレットで、保存会などの方の映像を提示する。(B2)	・動画「盛岡さんさ踊り」「踊り手の方、保存会の方、実行委員さんのお話」 ・文章資料「保存会の方のお話」	【思】※ 盛岡さんさ踊りに込めた、様々な人達の思いや願いについて考えたことを表現することができる。
6 ・ 7 ・ 8	・盛岡さんさ踊り以外の文化財や年中行事について、盛岡さんさ踊りと比べながら調べることができる。	・盛岡さんさ踊り以外の文化財や年中行事の中から詳しく調べたい物を選んで、由来や歴史などについて調べる。 ☆タブレットを使って、調べ学習を行う。(B2)	・地図「第1時でまとめたもの」 ・写真、文章資料「岩手県の主な文化財と年中行事」	【思】 盛岡さんさ踊り以外の文化財や年中行事の由来や歴史について、盛岡さんさ踊りと比べながら調べることができる。

9	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県の主な文化財や年中行事に込められた思いや願いに着目し共通点を見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県の主な文化財や年中行事について、調べたことを発表し合い、共通点を見付ける。 ☆電子黒板で、写真などの資料を提示しながら発表する。(C1) 	<ul style="list-style-type: none"> 写真「岩手県の主な文化財と年中行事」 ノート 	<p>【思】</p> <p>岩手県の主な文化財や年中行事に込められた思いや願いについて、共通点に気付くことができる。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県の主な文化財や年中行事の保存や継承やについて振り返り自分達にできることを考え、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県の主な文化財や年中行事に関わる単元を通した学習問題について自分の考えをまとめる。 ☆タブレットを使って、これまでの資料を見直す。(B3) 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに利用してきた資料 ノート 	<p>【思】※</p> <p>単元を通した学習問題を確かめ、岩手県の主な文化財や年中行事の保存・継承に関わる人達の願いについて、考えたことを自分の言葉で表現している。</p> <p>【態】※</p> <p>単元の学習を振り返り、地域の文化財や年中行事を保存・継承していくため、自分達にできることを考えようとしている。</p>

3 本時について

(1) 目標

盛岡さんさ踊りを保存・継承している人達の思いや願いを捉えることができる。

(2) 評価規準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
盛岡さんさ踊りに込めた、様々な人達の思いや願いについて考えたことを表現することができる。 【思考・判断・表現】	盛岡さんさ踊りを保存・継承している人達のお話を文章資料で振り返らせ、思いや願いを捉えさせる。

(3) ICT活用のねらい

- 導入で、電子黒板を使って盛岡さんさ踊りの映像を提示することにより、様々な人達が関わっていることを捉えさせる。
- 主体的に調べ学習を進められるように、盛岡さんさ踊りの踊り手、保存会、実行委員会の方の映像資料をタブレットに配付しておく。

(4) 分類方法

教師による教材の提示 (A1) 調査活動 (B2)

(5) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点・評価
導入 5分	<p>1 問題を把握する。</p> <p>○前時の学習を想起し、本時の学習問題を把握する。</p> <p>なぜ、もりおかさんさおどりは、長い間受けつがれているのだろう。</p>	<p>ICT</p> <p>☆盛岡さんさ踊りの映像を提示し、様々な人達が関わっていることを捉えさせる。 (A1)</p>

<p>展開 30分</p>	<p>2 見通しをもつ。 ○どうして、盛岡さんさ踊りを続けているの だろう。 ・楽しいから ・伝統だから ・見る人を楽しませたいから</p> <p>3 調べ学習を行う。 ○タブレットや副読本を使って、盛岡さんさ 踊りに関わる人達の思いや願いを考える。 ・さんさ踊りを教えることで、つながりが 生まれる。 ・同じ踊りを踊ることで、まとまりが生ま れる。 ・みんなで一つのことをするのは、楽しい。 ・さんさ踊りで、見る人を元気にしたい。 ・地域を盛り上げたい。</p> <p>4 調べたことを交流する。 ○盛岡さんさ踊りに関わる人達のそれぞれの 立場からの思いや願いを発表する。</p>	<p>・盛岡さんさ踊りに関わる人達の思いや 願いを調べていくという見通しをもた せる。</p> <p>・盛岡さんさ踊りの踊り手、保存会、実行 委員会の方についてグループごとに調 べさせる。</p> <p>ICT</p> <p>☆タブレットを使って、盛岡さんさ踊りの 踊り手、保存会、実行委員会の方のお話 を聞かせ、思いや願いを考えさせる。 (B2)</p> <p>・自分が調べたことと比べながら説明を 聞かせる。</p> <p>【評価】盛岡さんさ踊りに込めた、様々な 人達の思いや願いについて考えたこと を表現している。(ノート・発言)</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もりおかさんさおどりは、地いきの人と人 とがまとまり、つながりを深めるためや、見 る人を元気にするために受けつがれている。</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。 ○振り返りをノートに書く。 ・本時の学習で分かったこと ・盛岡さんさおどりについて、これまでの 学習を振り返って考えたこと</p>	<p>・盛岡さんさ踊りに関わる人達の思いや 願いについて、交流した中からまとめ る。</p> <p>・本時の学習を通して分かったこと、盛岡 さんさ踊りについてこれまでの学習を 振り返って考えたことについてノート に書かせる。</p>

(6) 板書計画

<p style="text-align: center;">学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>なぜ、もりおかさんさおどりは、長 い間受けつがれているのだろう。</p> </div> <p style="text-align: center;">○おどり手 ○保ぞん会 ○実行委員会</p>	<p style="text-align: center;">まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>もりおかさんさおどりは、地いきの人と 人とがまとまり、つながりを深めるため や、見る人を元気にするために受けつがれ ている。</p> </div> <p style="text-align: center;">ふりかえり</p>
--	--